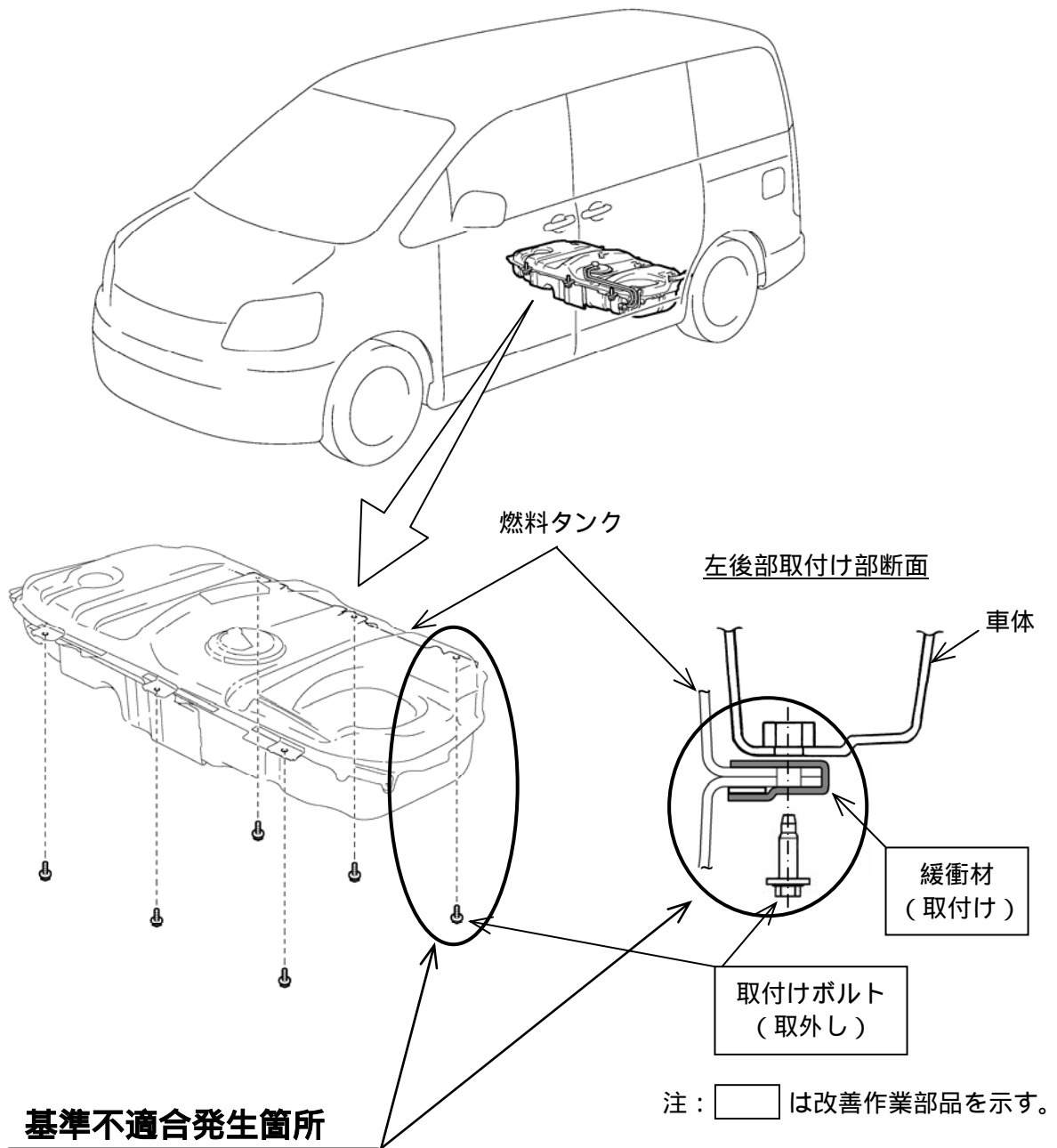


改善箇所説明図



燃料タンクの車体への取付方法が不適切なため、車体が大きく擦られるような路面を繰り返し走行すると、当該タンクの左後部取付けボルト部付近に応力が集中し亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料タンク左後部の取付けボルトを取り外し、異音防止のための緩衝材を取り付けるとともに、燃料タンクを点検し、亀裂のあるものは新品の燃料タンクと交換する。

識別

改善済車両にはエンジンルーム内の左サスペンションタワー上面に黄色ペイントを塗布する。